

## 白熱灯ダウンライト(一般屋内用)

品番 NDS35306S・NDS35306B・NDS35312W

・器具の取付けには電気工事士の資格が必要です。必ず工事店に依頼してください。

### 施工説明

工事店様へ この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

## 安全に関するご注意

### ⚠ 危険

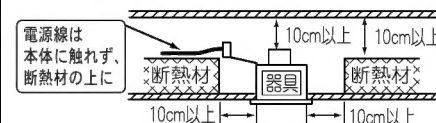
●断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。

火災の原因となります。

・住宅の断熱施工天井には、使用できません。



器具は断熱材・防音材・造営材等と  
下図の様な空間を設けて施工してください。



### ⚠ 警告

●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。 施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

●器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換をしない。 火災・感電・落下の原因となります。

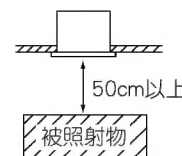
●器具の取り付け部以外の本体外郭が、天井内の造営物やダクト、電気配線などの設備に触れないように施工する。  
火災の原因となります。

●天井埋込専用です。壁取付けや天井直づけ及び傾斜天井への取付けはしない。  
火災・落下の原因となります。

●リード線、コネクターが器具に接触しないように施工する。火災の原因となります。

●器具と被照射面は、50 cm以上離す。被照射物の火災・変色の原因となります。

●器具表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。  
指定以外のランプを使用すると、火災の原因となります。



### ⚠ 注意

●一般屋内用器具です。直接日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない。  
火災・感電・落下・ランプ短寿命・サビ・反射板の変色およびはがれの原因となります。

●軒下、屋側通路等の雨の吹き込みを受ける場所では使用しない。  
火災・感電・落下・サビ・反射板の変色およびはがれの原因となります。

●周囲温度は、5～35℃以外では使用しない。 火災またはランプ短寿命の原因となります。

●振動のある場所では使用しない。 火災・感電・落下・取り付け面のスキマおよび変形の原因となります。

### 施工上のご注意

●取付面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取付けてください。  
サビや変色の原因となります。

## 各部のなまえと取り付け方

### 1. 取付け前の確認をする

- ・器具質量0.31kgに十分耐えるよう、取付け部の強度を確保する。
- ・不備がありますと器具落下の原因となります。

### 2. 天井に $\phi 75 \pm 3$ mmの埋込穴をあける

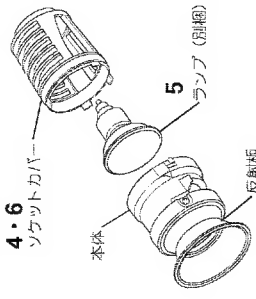
注) 石膏ボード等のやわらかい天井へ取りつける場合は、天井材料破損の恐れがある為、 $\phi 77 \pm 3$  mmの埋込穴をあける。

### 3. 枠をはずす

- ・枠を上押し上げて灯具からははずす。

### 4. ソケットカバーをはずす

- ・ソケットカバー凸部が本体突起部 (短) 位置にくるまで回転させソケットカバーを引き抜く。

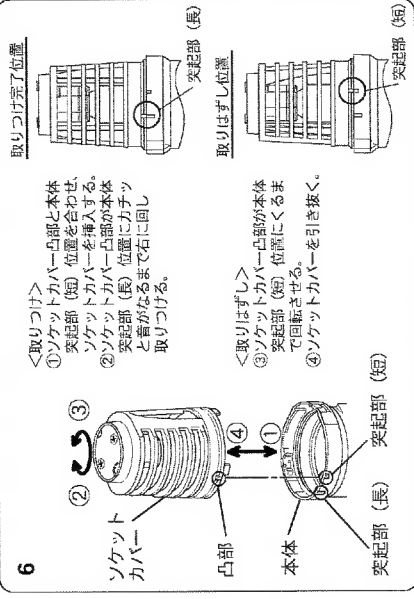


### 5. ランプ(別梱)を確実に取りつける

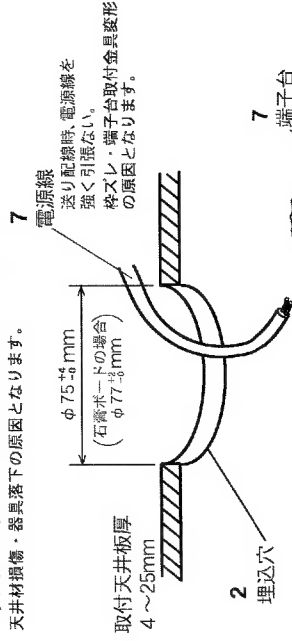
- ・ランプをソケットに確実に締付けてください。
- ・不備がありますと火災・落下の原因となります。

### 6. ソケットカバーを取りつける

- ・ソケットカバーの凸部と本体突起部 (短) を合わせはめ込み、突起部 (長) の位置にカチッと音がなるまで右に回し、取りつける。
- ・不備がありますと火災の原因となります。

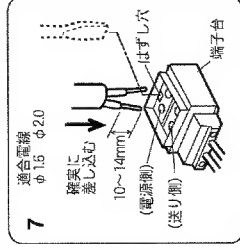


ロックワール等のやわらかい天井には取付けない。  
天井材損傷・器具落下の原因となります。



### 7. 電源線を端子台に接続する

- ・電源線を端子台に確実に差し込む。
- ・端子台の送り容量は1.5Aです。
- ・接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災・感電の原因となります。

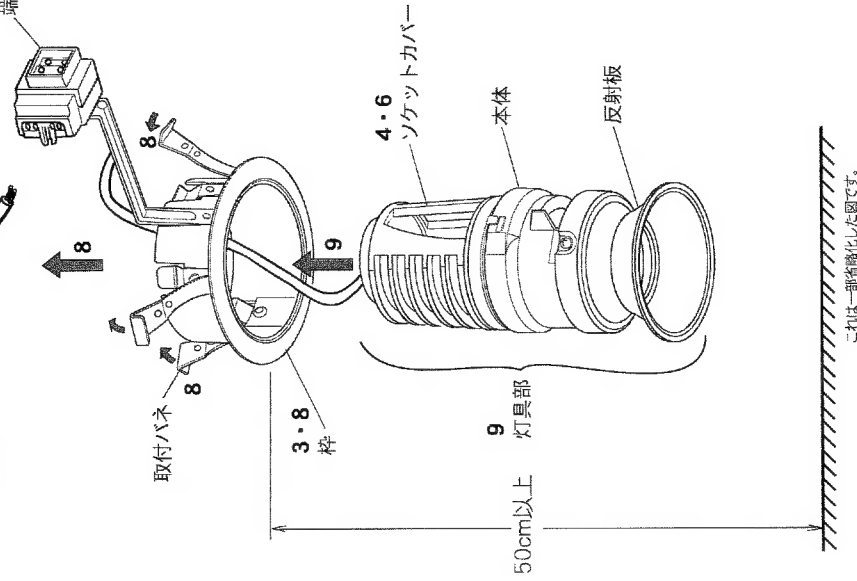


### 8. 枠を天井に取りつける

- 注) 枠の取りつけは灯具部をはずした状態で行ってください。
- 注) ダウントランソのある方向と結束バンドの方向を合わせ、コネクタが灯具部と接触しないようにする。
- ・取付ハネを矢印方向へ斜めに押し込んで埋込穴に押し込む。

### 9. 灯具部を取りつける

- ・反射板を持ち本体をまっすぐ押し上げ、枠に固定する。
- ・不備がありますと落下の原因となります。
- 注) 灯具部の取りつけは、必ず消灯状態で行ってください。
- 点灯状態で行うと、衝撃・振動によりランプ短寿命・破損の原因となります。



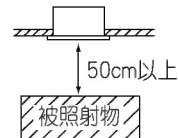
**警告**  
照射物・照射面との距離は50 cm以上離す。  
被照射物の火災・変色の原因となります。

・ ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。

## 安全に関するご注意

### ⚠ 警告

- 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・工事店にご相談ください。火災・感電の原因となります。
- 布や紙などの燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
- 器具と照射物・照射面との距離は、50 cm以上離す。被照射物の火災・変色の原因となります。



### ⚠ 注意

- 器具を温度の高温になる物（ストーブ・ガスレンジ等）の近くや湿気を発生する場所では使用しない。火災の原因となります。
  - 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検、交換してください。
- ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
  - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受け下さい。点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電・落下などに至る場合があります。

### 保証について

- 1：保証について この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 2：保証書について 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 3：補修用性能部品の保有期間 弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

### お手入れ・ランプ交換

### ⚠ 注意

必ず電源を切って行ってください。  
感電・やけどの原因となります

#### ＜器具の清掃について＞

- 汚れを落とす場合は、水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
- 変色・変質・強度低下による破損の原因となります。



#### ＜ランプ交換について＞

- 器具表示にしたがって、下記の指定されたランプを使用してください。

#### ＜照射方向の調整について＞

- 照射方向の調整は裏面を参照してください。

### ⚠ 警告

指定以外のランプを使用しますと火災の原因となります。

### ⚠ 注意

点灯中や消灯直後はランプやその周りにさわらないこと。  
やけどの原因となります。

#### 適合ランプ（指定）

φ50ダイクール電球  
40Wまで  
(E11口金)

#### おすすめの交換ランプ

JDR110V40WKN/5E11  
JDR110V40WKM/5E11  
JDR110V40WKW/5E11

### ランプ交換方法

- ①右図のように直下照射方向で枠を押さえながら、反射板を引き下げる。
  - ②ソケットカバーを左に回し、本体から取りはずす。
  - ③ランプを交換する。  
注）ランプは素手で触らないでください。
  - ④ソケットカバーの凸部と本体突起部（短）を合わせはめ込み、突起部（長）の位置にカチッと音がなるまで右に回し、取りつける。
  - ⑤反射板をまっすぐ押し上げ枠に固定する。  
注）反射板の取り付けは、必ず消灯状態で行ってください。  
点灯状態で行うと、衝撃・振動によりランプ短寿命・破損の原因となります。
  - ⑥照射方向を調節する。（裏面参照）
- 不備がありますと火災、感電・落下の原因となります。

